

FD・SD

プログラム番号 2702D

振り返りを活用した

学生・教職員のための効果的な能力開発手法

■講師



秦 敬治(愛媛大学 教育・学生支援機構教育企画室副室長・教授)
西南学院大学商学部経営学科卒業。九州大学大学院人間環境学研究所発達・社会システム専攻修士課程修了。同専攻博士課程単位修得満期退学(教育学博士)。学校法人西南学院本部・大学経理課係長(主査)、愛媛大学経営情報分析室助教授、教育企画室准教授を経て現職。愛媛大学教職員能力開発拠点SDC/SPOD-SDC。



山中 亮(愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室 特任助教)
東京学芸大学教育学部卒業。愛媛大学大学院教育学研究科修了。広島大学大学院教育学研究科文化教育開発専攻 博士課程後期在学中。1992年愛媛県より公立学校教員、2004年よりサッカーコーチ(サンフレッチェ広島・愛媛FC)を経て、2013年10月より愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室・特任助教。大学間連携共同教育推進事業「西日本から世界に翔たく異文化交流型リーダーシップ・プログラム」(UNGL)に従事し、学生のリーダーシップ養成に従事。専門は、スポーツ心理学、コーチング



林 真輝(愛媛大学 教育学生支援部 教育企画課 能力開発室 特定職員)
人間総合科学大学人間科学部卒業。2009年12月より松山東雲女子大学・短期大学職員を経て、2013年1月より愛媛大学教育企画課能力開発室・特定職員。大学間連携共同教育推進事業「西日本から世界に翔たく異文化交流型リーダーシップ・プログラム」(UNGL)に従事し、学生のリーダーシップ養成とリーダーシップ・プログラム運営の事務処理に従事。

■プログラム概要

皆さんは日頃から学生や教職員の能力開発に苦労されていると思います。本プログラムでは、効果的な振り返り手法を使って、学生、学生リーダー、教員、職員の能力開発手法を修得することを目的としています。

特に、成長のプロセスを一つのドラマと考え、そのドラマを如何に構成し、制作していくのかといったストーリーの重要性や、観察に必要なBe Alert(研ぎ澄まされた感性)と、お互いの成長を願うためのCritical Friend(批評し合える仲間)が求められます。

また、学生～学生スタッフ～教職員の3者が共に成長するための仕組みづくりも重要となります。この仕組みがサイクル化することで、持続的な成長をし続ける組織を構築できるのですが、当日は、講義とグループワークを織り交ぜ、上記の秘訣を皆さんと共有しながら進めていきます。

■主な受講対象

大学関係者、教育関連の方々ならどなたでも歓迎いたします

■本プログラムの到達目標

1. 成長のプロセスをドラマ化する重要性を説明できる
2. Be Alert(研ぎ澄まされた感性)やCritical Friend(批評し合える仲間)の重要性を説明できる
3. 持続的な成長環境の重要性を説明できる
4. 1～3を活用した能力開発プログラムの構築ができる

■日時・会場・受講定員

日時 : 平成26年8月27日(水)13:00～17:30
会場 : 高知大学 朝倉キャンパス 共通教育3号館 310番教室
定員 : 48名